

ぐんま “まちづくり” ビジョン 富岡市アクションプログラム（概要版）

『世界遺産にふさわしいまち とみおか』

1) アクションプログラムとは

ぐんま “まちづくり” ビジョンに基づき、各市町村が、人口減少と高齢化の進展するなかで課題を解決し、「**まちのまとまり**」を減らさず、望ましい将来のまちづくりを実現するための「実行計画」です。
※「まちのまとまり」とは、中心市街地や合併前の役場周辺、既存集落を想定しています。

2) ぐんま “まちづくり” ビジョンとは

人口密度の低い市街地が広範囲に形成された群馬県において、人口減少・高齢化が進むなかで「県民の暮らし」に生じる課題・問題点を解決し、望ましい将来のまちづくりを実現するための基本方針を明確にしたものです（平成24年9月策定）。
群馬県は、広域的な取り組みとともにアクションプログラムを作成した市町村を支援します。

3) 富岡市のアクションプログラムとは

富岡市では、富岡製糸場の世界遺産登録を見据えて、平成18年3月に「富岡市まちづくり計画」を策定しました。これに基づき、様々な事業が計画され、着実に実行されてきています。しかし、**世界遺産登録の実現、人口減少と高齢化**を踏まえて、まちづくり計画の見直しをすることが必要であり、アクションプログラムはこの「富岡市まちづくり計画」に代わるものとなります。

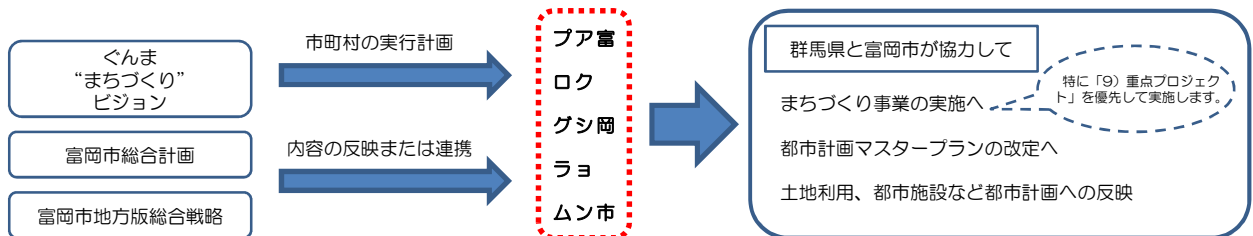
策定の
ポイント

①「まちのまとまり」にある既存施設を活用する

②これまでのやり方を少しずつ変える

③「まちのまとまり」の価値の向上を図る

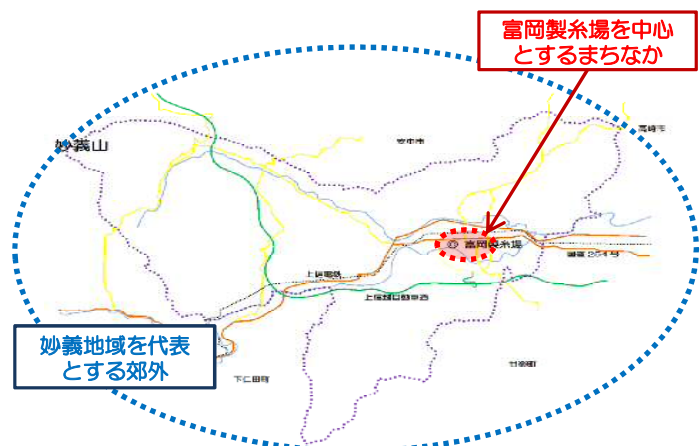
4) アクションプログラムの位置付け



5) 富岡市アクションプログラムの課題検討の枠組み

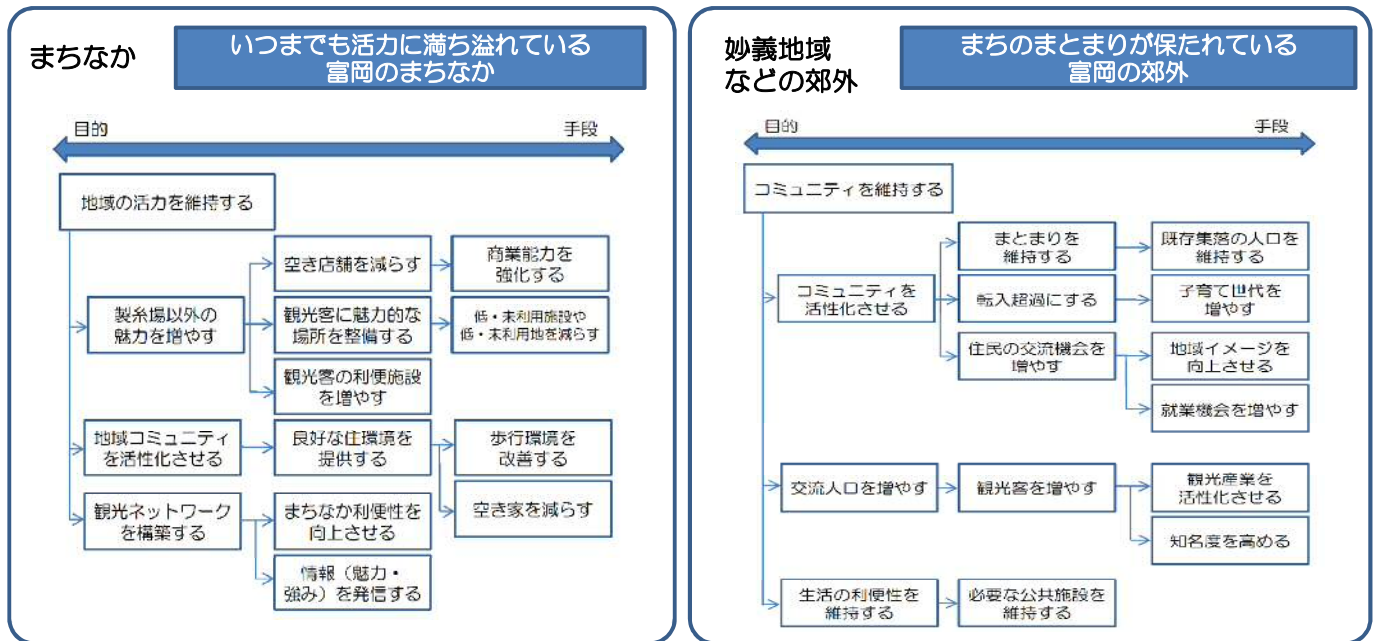
現在の富岡市は、平成18年3月27日に旧富岡市と旧妙義町の合併により誕生しました。また、平成26年6月25日に富岡製糸場が世界文化遺産に登録されました。富岡製糸場を中心とするまちなかは、世界遺産登録後、多くの観光客が訪れている一方で、妙義地域をはじめとする郊外では、世界遺産登録の効果が限定的であるなど、まちなかとは異なる課題があると予測されます。

そのため、アクションプログラムの作成にあたっては、「富岡製糸場を中心とするまちなか」と「妙義地域を代表とする郊外」に分けて課題を検討することとします。



6) 富岡市のまちづくりで今後必要となる機能

望ましくない状況を回避し、望ましい将来像である「世界遺産にふさわしいまち とみおか」のまちづくりで必要となる機能を、機能系統図として整理しました。系統図の左が目的（最上位機能）、右側が手段の関係になります。



7) 富岡市の基本方針と取組内容

富岡市が、人口減少と高齢化の進展するなかで課題を解決し、「まちのまとまり」を減らさず、望ましい将来のまちづくり「世界遺産にふさわしいまち とみおか」の実現に向けて「いつまでも活気に満ち溢れている富岡のまちなか」・「まちのまとまりが保たれている富岡の郊外」をまちづくりの基本目標とし、これを実現するために必要となる基本方針と取組を「ぐんま“まちづくり”ビジョン」から次のとおり選択します。

【基本方針1】人口減少を前提とした土地利用計画にあわせた公共交通や都市施設の再構築

「まちのまとまり」を減らさないよう適切に土地利用と公共交通の連携を進めていきます。

- 取組 1- (2) 都市機能の拡散を抑える。
- 取組 1- (3) 自動車利用を減らし、公共交通の利用者を増やす。

【基本方針2】空き地・既存施設の利活用や優遇措置の導入による街なかへの転居の促進や集客施設の誘致

既存施設を有効利用して、「まちのまとまり」への転居や集客施設の整備を進めます。

- 取組 2- (1) 集客・交流機能を集積させる。
- 取組 2- (4) 空き地や空き家を有効活用する。
- 取組 2- (5) 良好な居住環境を増やす。

【基本方針3】地域の誇れる個性・景観・くらしを支える機能を整えた魅力的な「まちのまとまり」づくり

世界遺産・富岡製糸場や妙義山など、地域の個性や景観を活かした地域づくりを進めます。

- 取組 3- (2) 情報通信インフラを普及させる。
- 取組 3- (3) 地域資源を保全・活用する。
- 取組 3- (4) 都市の個性を磨いて活かす。
- 取組 3- (5) 都市の魅力をつなげる。
- 取組 3- (6) 集客交流情報を発信する。
- 取組 3- (8) 居住人口を維持する。
- 取組 3- (16) 地域内の自助・共助を維持する（地域コミュニティの維持）。
- 取組 3- (17) 歴史・文化を保全・活用する。

【基本方針4】都市間移動も都市内移動も高い利便性の確保

富岡製糸場への観光客だけでなく、市民の移動の負担の軽減と利便性の向上を進めます。

- 取組 4- (1) 移動手段の選択肢を増やす。
- 取組 4- (2) 高速交通網へのアクセス性を高める。
- 取組 4- (4) 移動の負担を軽減する。

【基本方針5】災害時でも安全・安心な都市の防災機能の強化

防災、防犯、インフラの維持など地域の安全・安心なくらしの基盤を整えます。

- 取組 5- (1) 安心・安全な地域を維持する。

【基本方針7】家計にも環境にも優しい付加価値の高い効率的なまちづくり

市民だけでなく、環境にも優しい生活の基盤を整えます。

- 取組 7- (4) 大気汚染や温室効果ガスを減らす。
- 取組 7- (5) 廃棄物の削減とリサイクルを促進する。

8) 具体的な取組内容の事例

●公共施設跡地等の活用方法検討

【内容】
市内の主に用途地域内とその周辺の大規模工場や学校等の跡地について、将来のまちづくりに資するための活用方法を、関係者を含めて検討します。



旧大成ポリマー跡地

●大学の研究室・学生シェアハウスなど学生の活動拠点の設置

【内容】
空き家・空き店舗の活用や、学生の地域コミュニティへの参画を促して、地域の活性化を図るために、大学の研究室や学生シェアハウスなどまちづくりを学ぶ学生の活動拠点を設置します。



現在まちなかにある大学のサテライトキャンパス

●スローライフの促進

【内容】
風光明媚な妙義山を望む妙義地域は単に観光地としてだけではなく、ゆっくりゆったりとしたスローライフを送るのに適した地域です。そのためこうした生活を希望する人の移住や、週末だけの生活を希望する人の受け入れを促進します。
特に、農業に関心のある“農ガール”や、狩猟に関心のある“狩ガール”のコミュニティの形成などを促すために、女性にとって働きやすく、生活しやすい環境作りを図っていきます。
そしてこうした移住・交流の人の流れを生むために、ICTの整備を進め、テレワークの普及を促進します。また現在空き家となっている家屋の古民家レストラン・カフェとしての利活用や、空き地を地区菜園やレンタル農園、ファームステイなどに利活用できる仕組みづくりを進めていきます。



古民家カフェの事例
(南牧村・ちょっとしたcafe)

●地区計画と三項道路の組み合わせによる街並みづくり

【内容】
現在まちなかでは幅員の狭い道路に接している建物が多く、こうした現状では新築や建替えができません。こうした問題の解決と、まちなかの雰囲気を壊すような建物用途を制限するため、細街路の建築基準法の三項道路指定・地区計画を進めます。



三項道路指定のための現況調査

●眺望景観の保全

【内容】
妙義山などの山なみの眺望、まちを見下ろす眺望は「富岡市景観計画」でも富岡市の景観資源として、極めて重要であると位置づけられています。周囲と調和のとれていない色彩の建築物や基準に適合していない屋外広告物、大規模な太陽光発電施設などの眺望景観を阻害するおそれのある施設や工作物などの立地のあり方を検討し、景観条例等で規制していきます。



眺望点から望む妙義山
(丹生湖から)

●まちなか路面修景事業

【内容】
まちなかの路地を活かした観光客が安全安心に回遊できて、魅力的でおもてなしの空間となる景観に配慮した路面舗装を実施します。



まちなか路面修景の完成イメージ
(銀座通り)

●市役所周辺おもてなし広場づくり

【内容】
富岡交差点の改良事業に関連して、新市庁舎から富岡交差点までの間の公園や広場について、専門家や地域住民によるワークショップにより整備プランを作成し、魅力的なおもてなし広場づくりを進めます。



新市庁舎完成イメージ

●養蚕業の再生と「見せる」養蚕としての観光農業化

【内容】
富岡地域はかつては養蚕業が盛んでしたが、現在では養蚕農家数もわずかしかありません。その一方で富岡製糸場の世界遺産登録に伴い、富岡産の繭の需要が増加しており、養蚕業を再生させる必要があります。
また旧稚蚕飼育所を活用して、養蚕業を地域の人のたちによって「見せる養蚕」として、一種の観光農業化しようとする動きもあります。
さらに市民養蚕や地域桑園の整備、新たな養蚕業の担い手の掘り起こしと合わせて、養蚕業の振興を図ります。



養蚕所への改修の事例
(妙義町菅原地区)

9) 重点プロジェクト

重点プロジェクト1 少子高齢化や人口減少への対応

子育てがしやすく、高齢になっても生きがいをもって、地域でいきいきと安心して健康に暮らし、地域を支える力を発揮できる環境の基盤をつくる施策パッケージです。

若い世代を中心に多様な世代の市外への転出の抑制と市内への転入の促進に貢献し、くらし続けたいくなるまちをつくるプロジェクトになります。

目的	土地利用計画と公共交通の連携	既存施設を活用した転居の促進	地域の自助・共助の維持
	移動の利便性の確保	安心・安全な地域の維持	

重点プロジェクト2 富岡製糸場を核としたまちづくり

世界遺産である富岡製糸場をはじめとする富岡市の持つ魅力や観光客の満足度を高める「おもてなし」や「利便性」の向上により、地域の活気の維持・向上につながるプロジェクトになります。

目的	既存施設を利用した集客機能整備	地域の個性・景観を活かした魅力づくり	観光客の移動の負担軽減
	安心・安全な通行環境の確保		

重点プロジェクト1 少子高齢化や人口減少への対応 《実施工程》

目的	実施箇所	基本方針	具体的な取組内容	実施主体	工程表					市担当課
					28年	29年	30年	31年	32年	
土地利用計画と公共交通の連携	市内全体	1-(2)	都市計画区域の拡大などの都市計画制度の検討	市	■	■	■	■	■	都市計画課
	市内全体	1-(2)	公共施設跡地等の活用方法検討	市・県	■	■	■	■	■	都市計画課
	市内全体	1-(3)	上信電鉄を中心とした多様な公共交通の構築	市	■	■	■	■	■	企画政策課
既存施設を利用した集客機能整備	市内全体	2-(4)	空き家のデータベース化事業	市	■	■	■	■	■	観光課
	まちなか	2-(4)	空き店舗活用事業	民間・市	■	■	■	■	■	観光課
	まちなか	2-(4)	空き家再生推進事業	民間・市	■	■	■	■	■	観光課
	まちなか	2-(5)	市営住宅の継続実施事業	市	■	■	■	■	■	観光課
地域の自前・共助の維持	市内全体	3-(6)	移住・定住ホームページの作成事業	市	■	■	■	■	■	観光課
	市内全体	3-(8)	移住・定住奨励金事業	市	■	■	■	■	■	産業振興課
移動の利便性の確保	妙義など郊外	4-(1)	まちのまわりをつなぐ公共交通の構築	市	■	■	■	■	■	企画政策課
	市内全体	4-(4)	集合タクシーのデマンド化	市	■	■	■	■	■	企画政策課
	妙義など郊外	4-(4)	都市計画道路印藤小幡線整備事業	市	■	■	■	■	■	道路建設課
安全・安全は地域の維持	市内全体	3-(8)	公共下水道・農業集排水への転換者への補助金制度	市・県	■	■	■	■	■	下水道課
	まちなか	5-(1)	都市計画道路馬見塚芝沼線整備事業	市	■	■	■	■	■	都市計画課
	まちなか	5-(1)	まちなか防犯対策事業	民間・市	■	■	■	■	■	危機管理課
	まちなか	5-(1)	地区計画と三項道路の組み合わせによる街並みづくり	市・民間	■	■	■	■	■	都市計画課
	妙義など郊外	5-(1)	橋梁の長寿命化	市	■	■	■	■	■	道路建設課

成果指標	市の人口 (富岡市人口ビジョン)
基準年	50,793人 (平成26年度)
目標年	48,968人 (平成32年度)



※国立社会保障・人口問題研究所による平成32年度の推計値は48,208人

重点プロジェクト2 富岡製糸場を核としたまちづくり 《実施工程》

目的	実施箇所	基本方針	具体的な取組内容	実施主体	工程表					市担当課
					28年	29年	30年	31年	32年	
既存施設を利用した集客機能整備	まちなか	2-(4)	旧大成ロイヤル劇場の活用と市道6019号線等進入路整備	市	■	■	■	■	■	道路建設課 都市計画課
	まちなか	2-(4)	先行取得用地を活用した遊歩道づくり	市	■	■	■	■	■	都市計画課
地域の個性・景観を活かした魅力づくり	市内全体	3-(3)	眺望景観の保全	市・民間	■	■	■	■	■	都市計画課
	まちなか	3-(4)	主要地方道富岡河原線(半町通り)無電柱化・歩道整備事業	県	■	■	■	■	■	都市計画課
	まちなか	3-(4)	まちなか路面修繕事業	市	■	■	■	■	■	都市計画課
	まちなか	3-(4)	連反屋外広告物の計画前置整備	市	■	■	■	■	■	都市計画課
	まちなか	3-(4)	街並み景観の保全・創出	民間・市	■	■	■	■	■	都市計画課
	まちなか	3-(4)	市役所周辺街もてなし広場づくり	市・民間	■	■	■	■	■	都市計画課
	まちなか	3-(4)	花と緑のぐんまづくりをきっかけにした美しい道づくり	市・民間	■	■	■	■	■	都市計画課
	妙義など郊外	3-(4)	養蚕業の再生と「見える養蚕」としての観光農業化	民間・市	■	■	■	■	■	農政課
	まちなか	3-(5)	サイン(案内看板)・誘導計画の実定	市・民間	■	■	■	■	■	観光課
	妙義など郊外	3-(5)	広域観光を促進する幹線道路の整備(一般県道宇田線(旧津原線))	県	■	■	■	■	■	都市計画課
まちなか	3-(17)	歴史物建造物の改修と活用	市・民間	■	■	■	■	■	都市計画課	
観光客の移動の負担軽減	まちなか	4-(1)	上州富岡駅と富岡製糸場間の低速車両運行実験	市	■	■	■	■	■	観光課
	妙義など郊外	4-(2)	西毛広域幹線道路をつなぐ	県	■	■	■	■	■	都市計画課
	まちなか	4-(4)	富岡交差点改良事業	市	■	■	■	■	■	都市計画課
安全・安全は地域の維持	妙義など郊外	5-(1)	主要地方道松井田下仁白線道改良事業(移ノ木峠)	県	■	■	■	■	■	都市計画課

成果指標	市全体の観光入込客数 (第2次富岡市総合計画)
基準年	315万人/年 (平成26年度)
目標年	327.5万人/年 (平成32年度)

